

## (将来イメージ) 北海道アレルギー疾患医療に係る目標の実現に向けて

○北海道医療計画における目標 ※現行計画は令和5年度に更新し、令和6～11年度版を策定する予定

道内でアレルギー疾患を有する者が、その居住する地域に関わらず、等しくそのアレルギーの状態に応じて適切な医療を受けることができるようにする



現状は、① 拠点病院（北海道大学病院）

② 地域協力病院（大学病院及び三次医療圏を基準とした主要な総合病院）

③ ①～②の声かけ等により診療連携に参加する道内の医療機関

の三本立てにより、診療連携の輪を構築



今後、さらに診療連携の輪を拡充させ、道内のどこの地域においても、適切な医療を受けられるようにするためには、**二次医療圏を基準とした医療機関の参画が必要**



そこで将来的には、① 拠点病院（北海道大学病院）

② 地域協力病院（大学病院及び三次医療圏を基準とした主要な総合病院）

**【新設】③（仮称）地域連携施設（二次医療圏を基準とした一般病院、診療所）**

④ ①～③の声かけ等により診療連携に参加する道内の医療機関

の四本立てに強化することにより、診療連携の輪を全道的に拡充させ、目標を実現させる